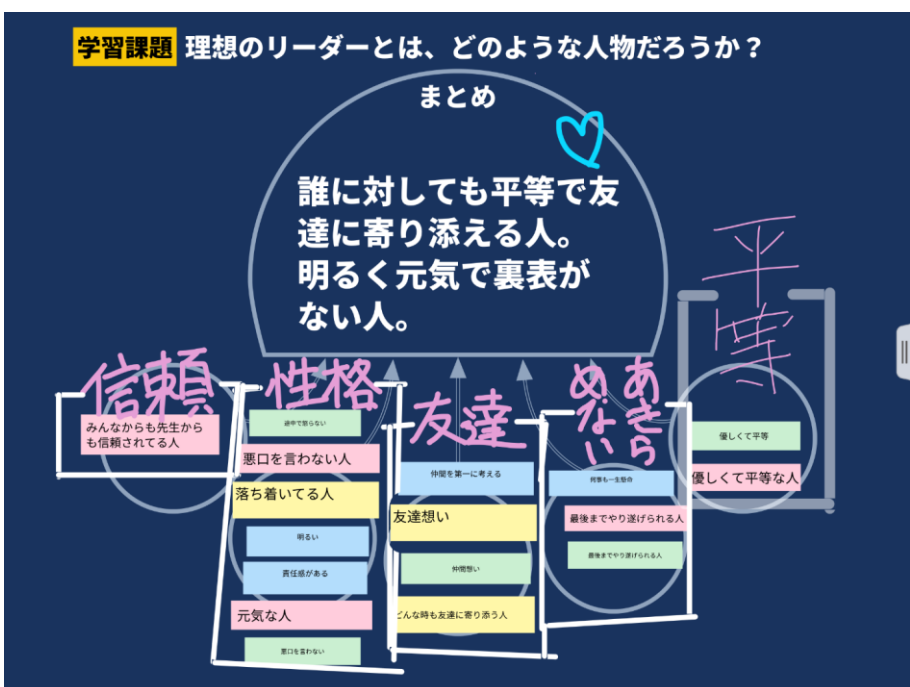
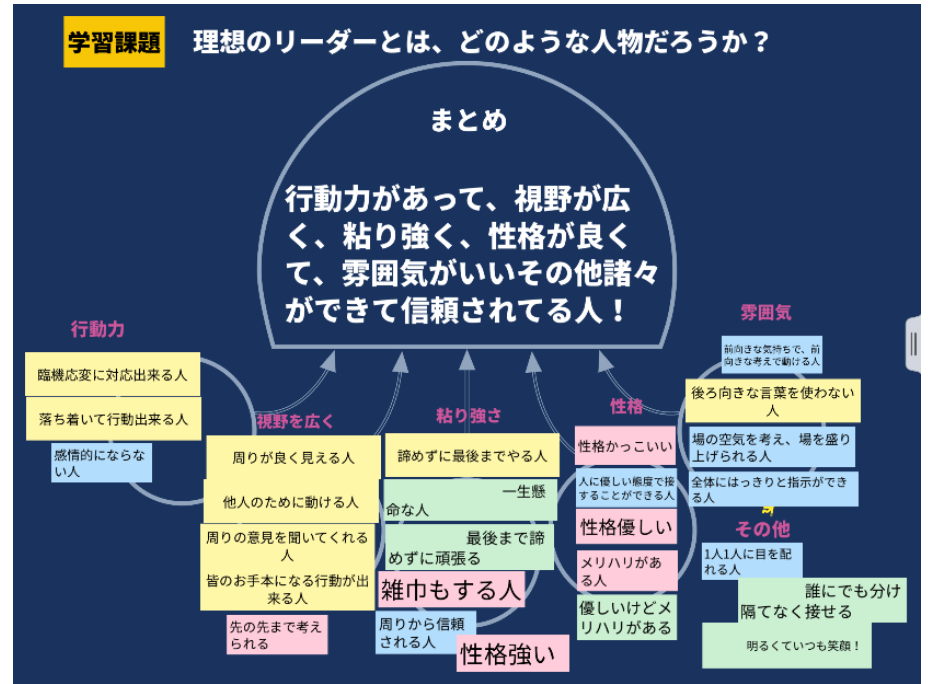
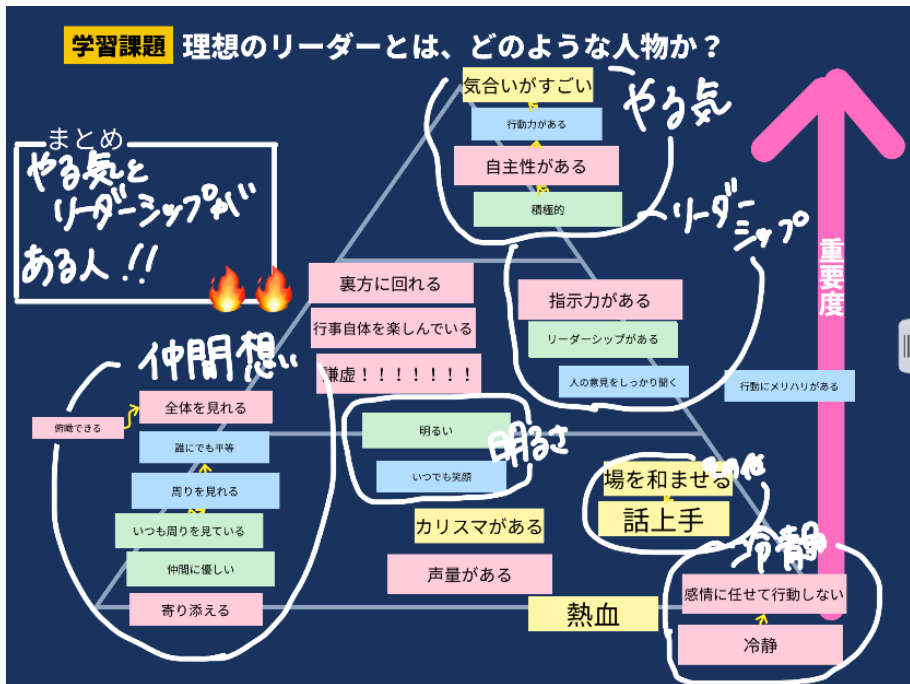
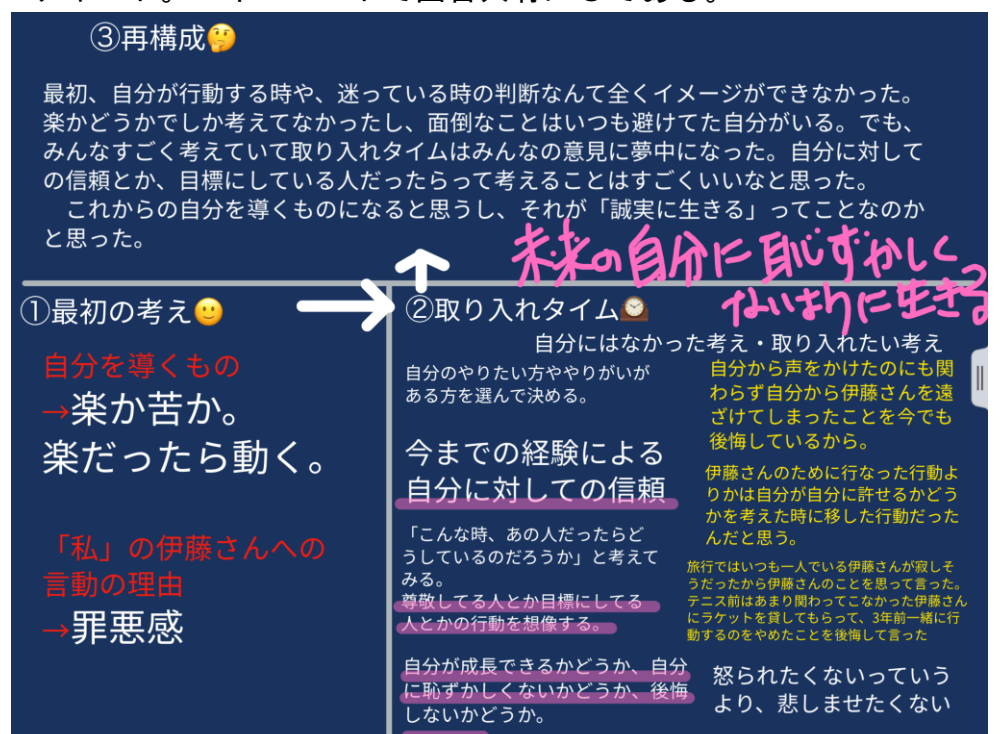
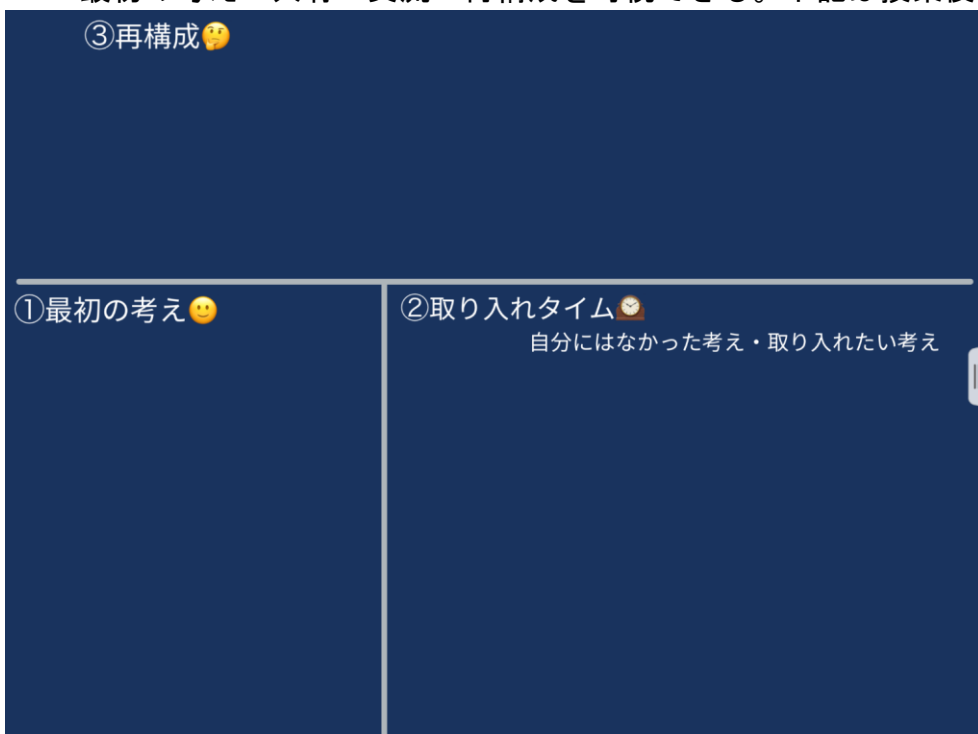


実践記録 iPad を活用した道徳実践

ロイロノートから「ピラミッドランキング」、「クラゲチャート」を班で選ばせ、「集団生活の充実」をねらいに授業を行った。思考ツールは、自分たちの班の意見の傾向を考え、選ばせた。3年生の体育祭のリーダー選出とからめたので、やや学活色の強いゆるゆる道徳であった。



3年生の教科書より「三年目の『ごめんね』」で授業を行った。学習課題は「『誠実に生きる』とは、どのような生き方だろうか」とした。ロイロノートの思考ツールのシートに直線を3本引き、「Tチャート」を作成した。「Yチャート」よりも使いやすいと思う。最初の考え→共有・交流→再構成を可視できる。下記は授業後のTチャート。ロイロノートで回答共有にしてある。



道徳における「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて

～新しい道徳の試み～

* 実践発表スライド一部抜粋



道徳の授業であることの2つの条件

① 道徳的価値の理解があること

「まとめ」

「新たな気づき」と「深化」

→クラスの総意

初めて考えたー！

ちゃんと考えたことなかったなあ...

② 人間としての生き方について深く考えていること

このことだったのか 私って… 私たちって…

「振り返り」

→自分ごととする

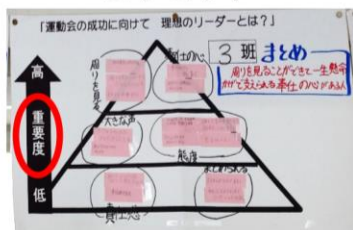
①と②を関連付けながら、
主体的に考え、対話的に学ぶ

→深い学びに至る

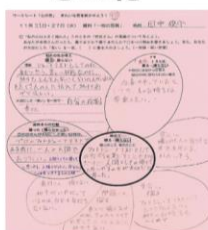
道徳で使いやすい「思考ツール」

対話の目的	適する内容項目	適する思考ツール	ICT
収束	○思考経験がある項目 ○身近な項目 例：友情・きまりを守る・家族愛	ピラミッド	俯瞰 一覧性 共有 比較
拡散 再構成	○思考経験が少ない項目 例：真理の探求・公德心・畏敬の念 生きる喜び	心の花	
整理 分類	○多様な考えを整理する ○見通しをもたせる	マトリクス PMI	

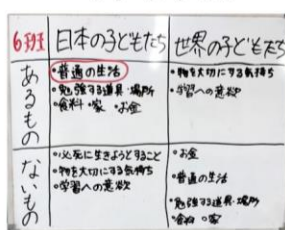
ピラミッド



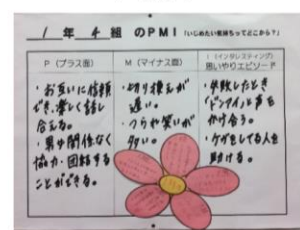
心の花



マトリクス



PMI



道徳ノート



新潟市立宮浦中学校

年 組 番 氏 名

最初の価値理解よりも広がっている・深まっている

教材や登場人物を鏡にして・・・

自分を見つめる

今の自分

対話をとおして・・・

共に学ぶ

友に学ぶ

改めて・・・

自分を見つめる

今までの自分 これからの自分

導入

展開

対話的な学び

終末

まとめ

振り返り

道徳の授業であることの2つの条件

①道徳的価値の理解があること

「新たな気づき」と「深化」

初めて考えたー！

ちゃんと考えたことなかったなあ...

②人間としての生き方について深く考えていること

このことだったんだなあ

①と②を関連付けながら、主体的に考え、対話的に学ぶ

→深い学びに至る

対話的な学びによって生じた、深化した価値で改めて自分を見つめ、人間としての生き方について考える。

道徳的価値については教材に即して読む。かつ生徒の立場で読む。

指導者 教諭 佐久間 奈々子

学習指導要領 道徳編より

22 よりよく生きる喜び 道徳の中でも難解な指導項目

人間には自らの弱さや醜さを克服する強さや気高く生きようとする心があることを理解し、人間として生きることの喜びを見いだすこと。

(小学校) [よりよく生きる喜び]

(第5学年及び第6学年) よりよく生きようとする人間の強さや気高さを理解し、人間として生きる喜びを感じる。

- ・ 思考経験がない
- ・ 生徒にとって身近な生活経験による場面設定ではないことが多い

・ なんのための「対話」？
だから「対話」！

【本時の主張】

R元. 11 「生きる喜び」実践 道徳指導案より

本時は「よりよく生きる喜び」(D-22)の内容項目である。この内容項目について、教科書に掲載されている「撮れなかった一枚の写真」を中心に展開する。作者の吉田レイ子氏は、ベトナム戦争を撮るフォト・ジャーナリストである。本教材から「よりよく生きる」とは、「人間の尊厳と自分の信念を大切に生きること」と読み取ることができる。これを、1年生である生徒の言葉に換言すれば、「自分が大切だと思うことや信じたことを貫いて生きること」となるだろう。授業では、この道徳的価値に気づかせたい。

しかし、生徒にとって「よりよく生きるとはどういうことか」を自問したり、「自分の信念を明確にし、最後まで貫く」と回答したりすることは容易ではない。なぜなら、一人でじっくり考えたり、友だちと「よりよく生きること」について話したりする経験がこれまでほとんどなかったと考えられるからだ。さらに、ベトナム戦争を背景にしたフォト・ジャーナリストの葛藤は、身近な場面でもない。よって、当時の状況や吉田氏について十分に理解させなければ、自我関与しながら道徳的価値の理解を促すことが困難となる。

そこで本時では、対話を重視し、他者の考えも取り入れながら、自分なりの、よりよく生きようとする価値観と意欲を高めていきたい。教材のもつ力強さを活かし、次の2つの手立てを講じる。

【手立て1】教材の改編と分割提示を行うとともに、写真、場面絵など視覚に訴える補助資料を使って、道徳的価値を追求する意欲を高める。

【手立て2】作者の葛藤について、作者の立場だったらどうするか(自我関与)の理由を、思考ツールを用いて話し合うことによって、自分の考えを、広げたり深めたりさせる。

手立て

実践紹介 「生きる喜び」 「撮れなかった一枚の写真」 → 「一枚の写真」

* 「撮った」 or 「撮らなかった」 を考えさせるため

【手立て1】教材の改編と分割提示を行うとともに、写真、場面絵など視覚に訴える補助資料を使って、道徳的価値を追求する意欲を高める。

本時では導入で、81歳になった今でも世界を飛び回ってフォト・ジャーナリストとしての使命を果たそうとしている作者の、「今」と「当時23歳頃」の写真を示す。前時に考えを深めてきた「人としてよりよく生きようとする」作者の姿について、現実味を帯び、より身近に親近感をもって考えることができる。

*未掲載

写真
最近の作者と、ベトナム戦争の写真を撮っていたころの作者
「吉田ルイ子公式ホームページ」より

葛藤場面がイメージしやすいよう、「絵になる」と思った場面と、「顔をそむけた母」の姿について、先に示した場面絵を用いる。また、教材は、前時と本時で2つに分割して提示する。前時では、教材を作者の葛藤場面が鮮明になるよう改編し、写真を撮るか撮らないか揺れ動くところまでを提示する。ここで生徒には「あなたが吉田さんだったら、撮るか、撮らないか」を問い、理由を書かせる。吉田さんが目にしたであろう、臨場感ある場面絵は、生徒の考える意欲を高める。これらの写真と場面絵は、本時の導入で提示する。2週に渡る授業のため、生徒の意欲喚起と前時の想起として、この手立ては導入場面での学習課題の設定においても非常に有効である。



場面絵
「絵になる」と感じた絵
「撮ることができなかった」絵
美術の先生に描いてもらいました

重要な葛藤場面でありながら挿絵が全くなく、生徒はイメージがわかない。美術科の同僚に依頼したところ、快く描いてくれた。



作者が「絵になる」と感じた場面
ベトナム戦争で逃げる母子 メコン川のほとり

撮影しようと、ファインダーをのぞいた時に見たであろう光景



私はシャッターの上に指をのせた。「撮る」か、「撮らない」か、
ここで分割し、「あなたが吉田さんだったら『撮るか』『撮らないか』」を問うた。

私の心は大きく揺れた。

「撮れなかった場面」

ピューリッツァー賞が取れるほどの傑作だったに違いない。



その後、私は考えた。というより、感じた。あの写真は撮らなくてよかったのだ、あの状況と事実を見た、ことで十分だった。いや、見せられたことこそ重要なことだったのだ、と感じた。
確かに、プロとしての厳しさが足りないと言われるかもしれない。私はそれでいい。今でもそう信じている。プロのフォト・ジャーナリストである前に、私は一人の人間でありたい。

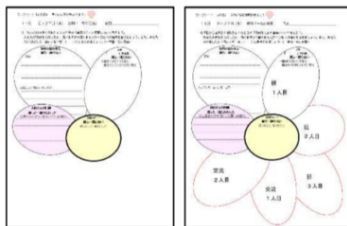
思考経験のない「生きる喜び」→思考ツールの活用によって、拡散・広がり...再構成をねらった

【手立て2】作者の葛藤について、作者の立場だったらどうするか（自我関与）の理由を、思考ツールを用いて話し合うことによって、自分の考えを、広げたり深めたりさせる。

本時の指導に当たっては、自分だったら「撮る」か「撮らない」かの立場を明確にし、異なる意見をもつ他者との対話を通じて、ワークシートに自己の思考の揺れと変容、再構成までを可視させていく。

他者と話し合った後で、教材の後半を示し、吉田さんの決断と対峙させることで、さらに自分たちの考えと比較させる。吉田さんの決断が正解なのではなく、先哲との対話として、生徒の学びをさらに深めていく。このようにして、「よりよく生きる」ことを多面的・多角的に考えさせる。

中心発問では、『私はそれでいい。』と言い切った吉田さんが大切にしたい思いは何か』を考えさせて、「人として大切なこと」や「自分の信じること」などといった言葉を引き出していく。



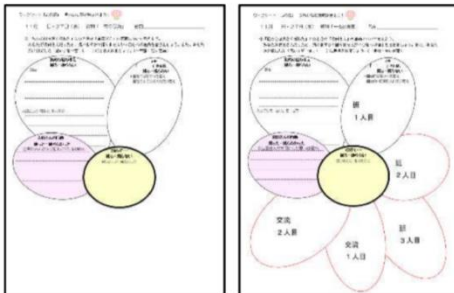
①配布時のワークシート ②生徒記入後

道徳で活用できる思考ツールとして、「心の花」（左図）を考案した。従来活用されている思考ツール「フィッシュ・ボーン」と「クラゲ・チャート」をもとに作成した。「心の花」の主なねらいは以下の4点である。

- ①自他の考えを可視化する。
- ②他者（教材含）との考えの異同を比較整理する。
- ③相互に自分の学びを共有し合う。
- ④自分の思考の再構成を図る。

「心の花」は、話し合いを収束や集約に向かわせるためのものではなく、自分の考えをもとに、友だちの意見を聞き、比較しながら思考を広げたり、深めたりする過程を可視するためのツールである。最後は花の中央部分に、改めて考えたことや感じたことを記入し、思考の再構成を図るとともに、変容にも気づくことができる。このツールによって、自分だけでは気づくことが難しい本時の道徳的価値について、他者（作者含）の考えを取り入れながら、考えを広げたり深めたりできるようになる。

思考ツール「心の花」を考案 拡散・広がり...再構成をねらった

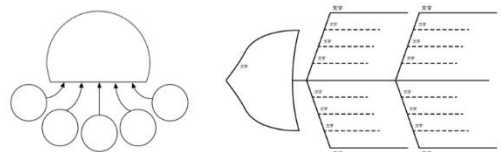


①配布時のワークシート ②生徒記入後

道徳で活用できる思考ツールとして、「心の花」（左図）を考案した。従来活用されている思考ツール「フィッシュ・ボーン」と「クラゲ・チャート」をもとに作成した。「心の花」の主なねらいは以下の4点である。

- ①自他の考えを可視化する。
- ②他者（教材含）との考えの異同を比較整理する。
- ③相互に自分の学びを共有し合う。
- ④自分の思考の再構成を図る。

「心の花」は、話し合いを収束や集約に向かわせるためのものではなく、自分の考えをもとに、友だちの意見を聞き、比較しながら思考を広げたり、深めたりする過程を可視するためのツールである。最後は花の中央部分に、改めて考えたことや感じたことを記入し、思考の再構成を図るとともに、変容にも気づくことができる。このツールによって、自分だけでは気づくことが難しい本時の道徳的価値について、他者（作者含）の考えを取り入れながら、考えを広げたり深めたりできるようになる。



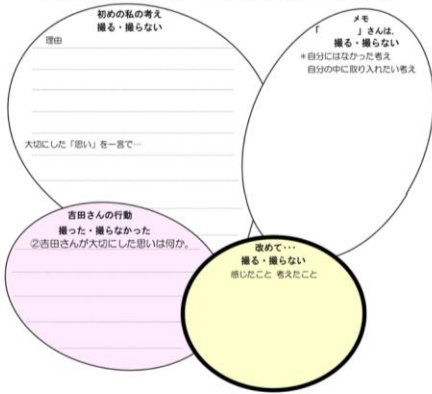
思考ツール「心の花」

実際の生徒のワークシート「撮る」→「撮らない」

ワークシート「心の花」 きれいな花を咲かせよう！

11月 日・27日(水) 資料「一枚の写真」 名前 _____

①「私の心は大きく揺れた」このときの「吉田さん」の葛藤について考えよう。
あなたが吉田さんだったら、撮りますか？撮りませんか？○をつけ理由を書きましょう。また、あなたが大切にしたい「思い」を一言、() に書き入れましょう。(一単語・短い言葉)

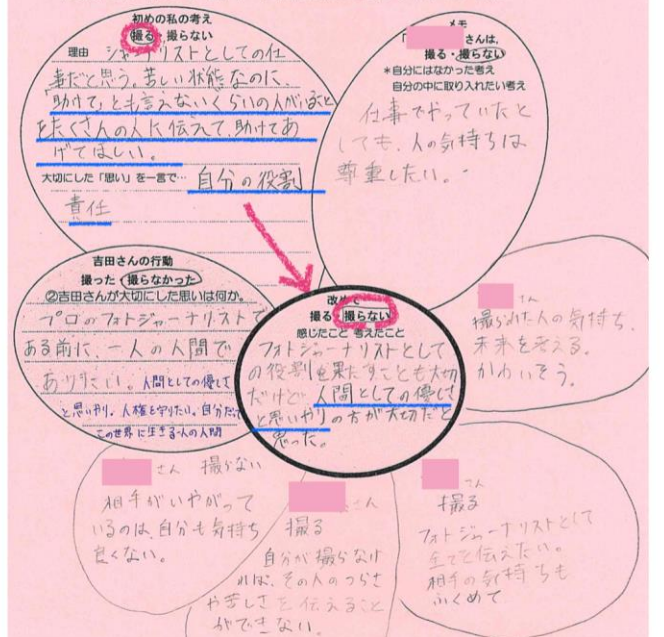


※前時と本時でこのワークシートを使用する。前時では左上の「初めの私の考え」のみを記入させ、回収しグループ編成する。グループは4人で、「撮る」「撮らない」の生徒がまざるように編成する。また、同じ「考え」でも異なる理由同士で組ませたい。そこで前時では理由を明確に書かせておく。

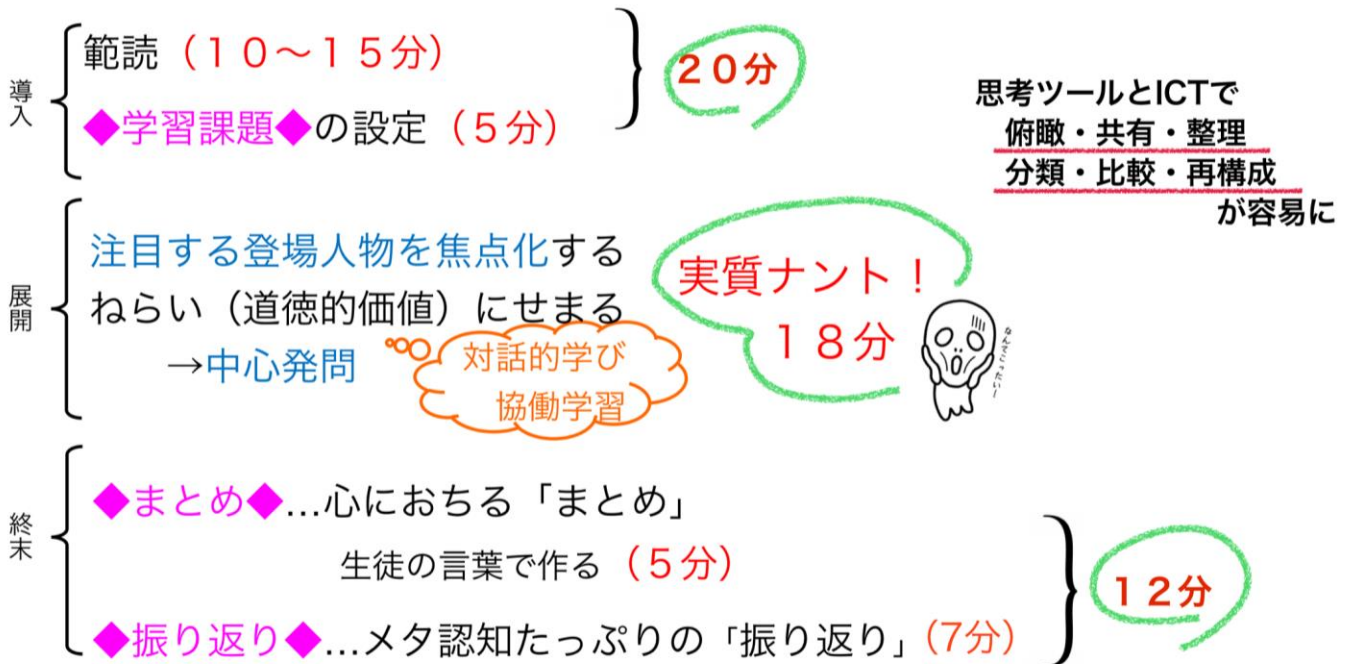
ワークシート「心の花」 きれいな花を咲かせよう！

11月 21日・27日(水) 資料「一枚の写真」 名前 _____

①「私の心は大きく揺れた」このときの「吉田さん」の葛藤について考えよう。
あなたが吉田さんだったら、撮りますか？撮りませんか？○をつけ理由を書きましょう。また、あなたが大切にしたい「思い」を一言、() に書き入れましょう。(一単語・短い言葉)

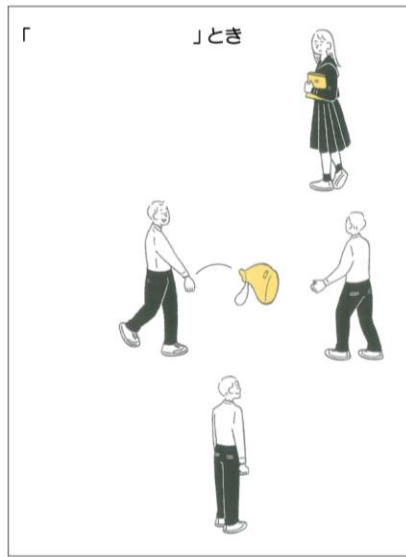
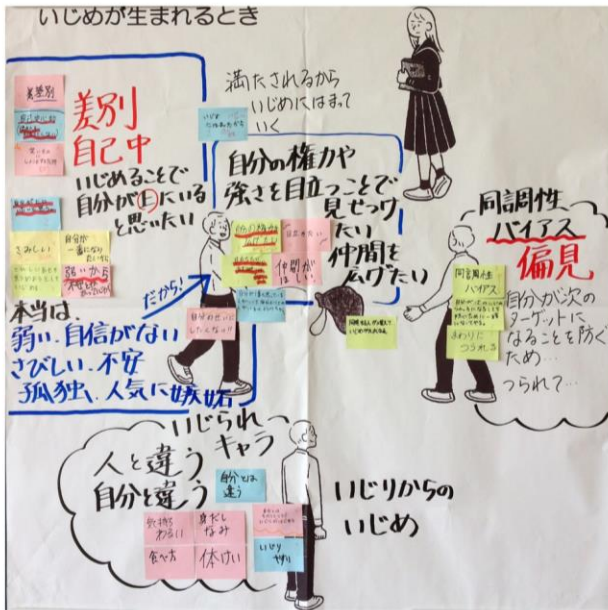


道徳の授業の中で、対話にさける時間はどのくらいか？



③ 「ホワイトボードミーティング」と「KJ法」で「いじめの構図」を考える

拡散→収束

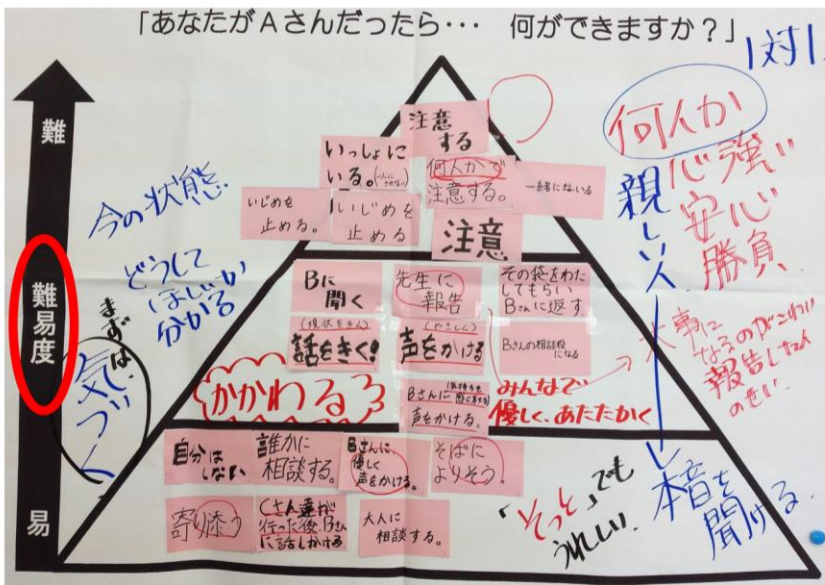


一枚の絵と生徒の対話だけで「いじめ」の授業を行う

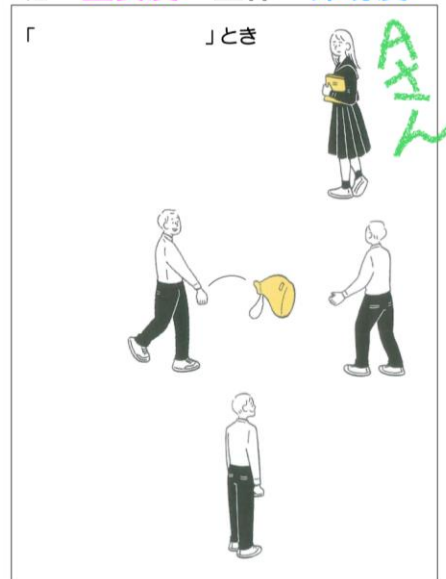
- いじめの単元学習 (道徳指導項目)
- 友情
- 集団生活の向上
- 思いやり
- 理想社会の実現

「いじめの構図」からさらなる対話を促し、自我関与のある深い学びへ

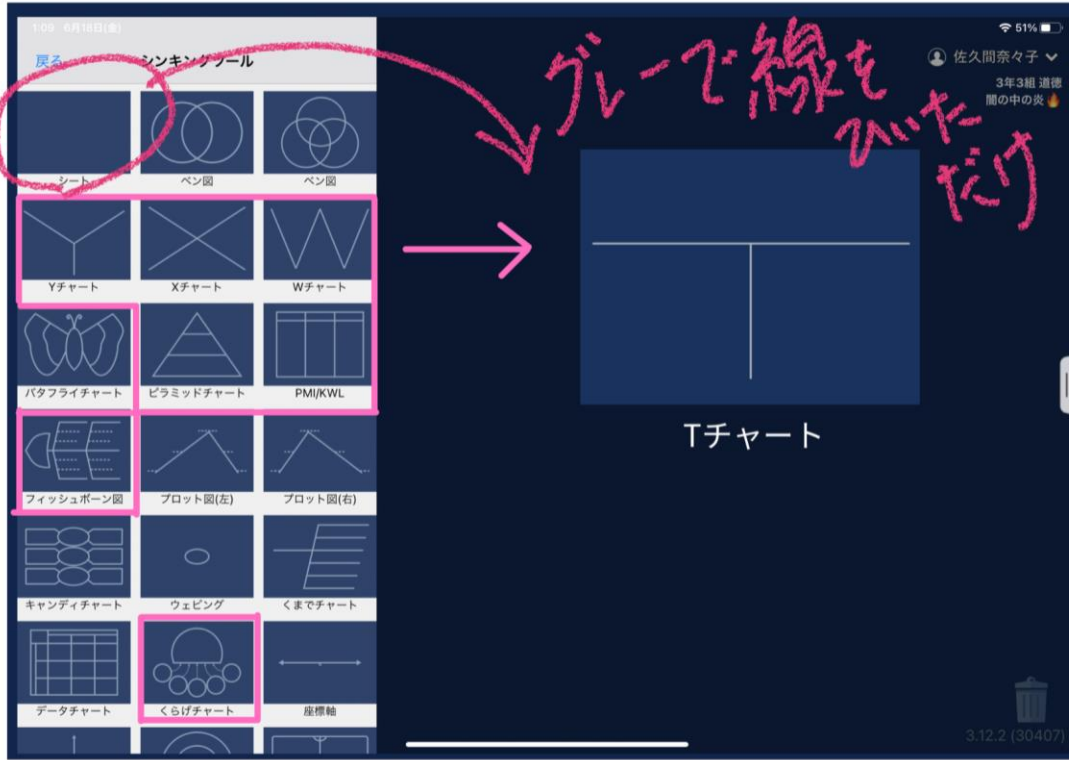
④ ピラミッドで「あなたなら、何が出来る？」 あえてランキングの軸を変える



班→重要度 全体→難易度



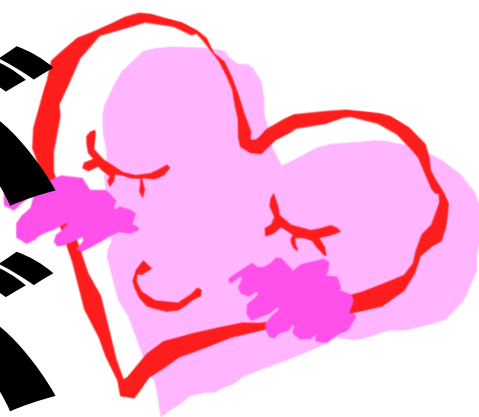
道徳での試み 実践紹介8
「Tチャート」
ロイロで思考ツールを作ってみた！



友だちのために
発言しよう

わたしのこの意見を
友だちにあげたい！

共に学ぶ
友に学ぶ



友だちの意見が自分の
考えを広げる・深める

自分の意見が友だちの
考えを広げる・深める

友だちの意見
から学ぼう

自分の考えを
友だちに伝えよう

友だちから自分と違
う意見をもらうって
すごい！

今日は誰の意見から、
どんなことが学べるか
な！